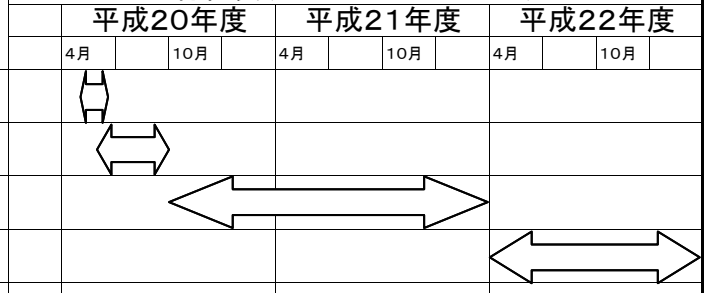
行財政改革大綱後期実施計画

実施事項名	補助金等を定期的に見直す仕組みづくり	重点項目番号	6
現状、問題点、必要性 （なぜやるのか）	【現　状】 合併前に各市町村で支出されていた補助金等が合併後も継続されていたり、補助の公益性や効果が検証されていないケースがある。行財政改革大綱により、平成18年度から平成20年度までに30%の削減を行ってきた経過がある。 【問題点、必要性】 交付している期間や効果等を検証し、補助金等の見直しを行う必要がある。 【現状の客観的な説明】 合併協定書において、団体運営補助金・事業補助金とも新市発足後の調整を規定している。	番号	③
		担当課（執行する課）	総務部　行政改革推進課
		責任者名（執行責任者）	行政改革推進課長　吉村　豊
		担当課電話番号	22－9622
対象等（なにが、だれが）	市が支出する補助金等	財政効果額（千円） （いくら削減されるのか、いくら収入増となるのか）	【金　額】 【算定根拠】 ※補助金等について検証を行った結果、交付の説明ができないものについて是正を提言する。そのうえで交付額を確認し効果額としていく。
成果（対象がどうなるのか）	補助金等の目的や効果が検証される。		
実施する内容・目標数値 （対象を成果の状態にするために、何を、いつまでに、どのようにやるのか）	【実施内容】 市が支出している補助金等について検証を行う。 【目標数値】 《最終目標》 補助金等の見直しに関する指針を作成する。市が支出する補助金等について指針に基づき検証を行う。 《平成20年度の目標》 補助金等に関する現状を把握する。補助金等の見直しに関する指針を作成する。 《平成21年度の目標》 市が支出する補助金等について指針に基づき検証を行う。 【目標の客観的な説明】 補助金等については、行政評価により必要性や有効性等を検証しているが、担当部署内でのチェックでありより客観性のある市民への説明のために検証をしようとするものである。	特記事項	

目標を達成するための活動指標（全体目標を達成するために個別に実施する項目）
（何をどれだけやるのか）

活動指標名	目標値	定義・算定式
補助金等の見直しに関する指針の作成		補助金等の交付に関して基準を設ける。
補助金等の現状把握		各課に補助金等の現状の照会を行い実態把握を行う。
指針に基づく補助金等の検証		市が支出する補助金を検証する。
補助金等の検証結果の反映		予算等に、検証結果を反映させる。

行程表（いつまでにやるのか）